

日中友好新聞

府連通信

2012年4月号
日本中国友好協会大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
茶屋町10-6
阪急北ビル4階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:jcfaj@jst8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.u-p.jp.so-net.ne.jp/jcfasaka/

六月に東京で全国大会

日中国交回復四十周年記念

第六一回全国大会が六月九・十日に東京都内で開催されます。日中国交回復四十周年の年に開催される大会に、仲間づくり目標を達成して迎えることが大切です。中国脅威論が強化される中で、千三百名近くの入会者があり、自信を持って四百名以上の増勢で大会を迎えましょう。漫画展の開催や中国ツアーの参加者から、これまで全く接点



昨年・豊橋市での第60回全国大会

中国語を身につけませんか？

中国語講座始まる・途中入学も可

四月二日より第九十六期・中国語講座が始まりました。その一週間前に開催された「入門レッスン」には二十二人の参加があり、中国語への関心の深さが見られました。中国との交流・友好を深めるために重要なことは相互理解です。そのため、相手の国の言語を学ぶことはとても大切な意義をもっています。多くのの方が中国の文化を理解し、正しい中国語を身に付けたいと申し上げます。

七月に高槻・摂津・山水館で府連大会

第五八回大阪府連大会は、七月八日午後二時から高槻市摂津山水館で開催します。大阪府連創立六〇周年記念の祝賀会も行います。古くからの会員も、新しい方も多数ご参加ください。日中国交回復四〇周年記念平和ツアー『上海・南京五日間』を十一月中旬に開催予定です。

計報

長年、日中大阪府連の中国語講座で講師をされていた、西村正邦さんが三月九日急逝されました。享年八三歳。

三〇年以上にわたる個人的な楽しい授業は、多くの受講生の心に残っています。安らかに眠り下さい。

カレンダー「中国悠久の旅」写真募集

日中友好協会では毎年制作しているカレンダー「中国悠久の旅」へ掲載する写真を募集しています。

中国旅行で出会った風景や世界遺産、生活や風習、行事などカレンダーにふさわしい、記念の写真をお寄せ下さい。締め切りは六月一日です。

【募集要項】

応募枚数は一人二〇枚まで
写真の大きさはハガキ大以上
写真の向きは表紙はタテ、一月から十二月はヨコ
デジカメでの撮影は、千万画素数以上が望ましく、写真用紙に印刷して応募して下さい。

*応募写真の返却は出来ません
問合せは日中友好協会本部へ
03-3234-4700

第35回 全大阪きりえ美術展

大阪府内と関西のきりえサークル会員・愛好家・作家の近作を展示します。ぜひご来場下さい。

5月18日(金)～5月23日(水) **入場無料**

10:00～18:00 (最終日は15:00)

エル・おおさか9階ギャラリー(府立労働センター)

主催：全大阪きりえ連絡会 TEL：06-6354-0102

中国語講座・開講中

中国人との日常会話ができることをめざしています。会員・学生割引あり、紹介キャンペーン図書券を贈呈

途中入学可 (週一回・二時間・6ヶ月20回受講)

受講料・48,000円 入学金・18,000円

二科目受講は96,000円を72,000円に割引

*プライベートレッスンも随時受付中です。

桜満開の小倉山へハイキング

嵐山不再戦石碑の前で太極拳

大阪西支部四月行事は、藤原定家が小倉百人一首を撰集したとされる嵐山から小倉山へ行きました。

桜の開花が遅れた休日、山に登るまで大変な人混みでした。東海道自然歩道を歩き、嵐山亀山公園では、中国の総理であった周恩来が、京都留学中に作った詩「雨中嵐山」の石碑を横に見ながら、頂上を目指しました。



きました。ここには日中京都府連が府民や市民の方呼びかけて、日中戦争から三〇年後の1968年七月に建立された不再戦の石碑があります。清水寺の貫主であった大西良慶さんが揮毫された不再戦の石碑で、平和の願いは重々しいものでした。石碑の前で、二四式太極拳を行い、花見客から注目を浴びました。参加者は十名、天候にも恵まれ清々しい気持ちで散会しました。(H)

中国の総発電量四億キロワット

原発の安全基準を見直す

中国の発電割合は、火力発電がダントツで七〇数%、三基の原発が稼働し、二七基前後の建設や建設準備が進行し、風力、天然ガスに至っては約二%、原子力発電も同様です。その中で経済発展に伴う電力不足と、環境「公害問題」を解決する手段として、原発建設の計画は当初六〇基程度計画されていましたが、昨年の福島原発の事故の影響で足踏みをしながらも、安全基準の見直しと、安全第一の厳格な運用に力を入れ目標を達成す

安全な第三世代型(米国のAP1000加圧水型)や(欧州のEPR加圧水型)の改良版を計画しているようですが、今までの地震は原発のない所で発生し幸運だったのか、これから原発増えれば好運だけでは済まないかもしれません。そのためにも核を持たない日本が、世界に向けて核兵器を無くせと主張し、率先して原発を順次廃止するドイツと日本が手を組み、中国や世界に『脱原発』をと叫びたい。そして人類が放射能の危険から解放される喜びを、世界中の人々と分かち合いたいものです。

(大阪府連常任理事・松原弥寿夫)

黄果树瀑布と苗(ミャオ)族を訪ねて

菜の花の咲く中国貴州省の旅(徳道光宏)

三月下旬、中国貴州省のツアーに参加しました。日本になじみが薄い貴州省ですが、マオタイ(茅白)酒の産地であり、中国三国時代の夜郎族の故地と言え「ああ」という人もいます。中国南部奥地の高原地帯で、七割がカルスト地形であり、少数民族も多く、私たちが訪ねた時は、菜の花が満開で、棚田一面の菜の花畑は絶景でした。

最初の観光地は東洋一の「黄果树瀑布」で高さ七四m、幅八四mあり、滝の裏側を通り抜けることができます。貴州省は晴れの日が少ないのですが、訪れた時はちょうど太陽が現れ、滝壺に虹が出ていました。途中に鍾乳洞「竜宮洞」があり、小舟にのり観光しました。

このあたりはブイ(布衣)族が多く、屋根を石灰岩の石で葺いた住居が目立ちます。翌日は省都から二五〇キロ離れた凱里市から更に山奥に入ったミャオ(苗)族の村落を訪ね、セレモニーを楽しみました。ミャオ族は帽子や衣装に銀の飾りを沢山つけており、杉が豊富で住居は木造、一階は家畜小屋、二階が住居、三階が農産物貯蔵というのが一般的の様です。しかし、出稼ぎに出ているのか、青年の姿は見えませんでした。

五日目は省都貴陽市の郊外の大きな公園と古い街並み「青岩古镇」です。公園は平日なのに太極拳や踊り、散歩する「老人」で大にぎわいでした。貴州省は中国でも最も貧しい省です。七年前に旅行した時、中でした。「こんな開発をして埋まるのかなあ」と思ったのですが、見事なニュータウンになっていました。また、いたるところで鉄道、地下鉄、高速道路の工事が進められ、高層ビル建設のクレーンが立ち並び、中国経済の力強さを実感した旅でもありました。

